

## 出題のねらい

### ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

### イ. 各問いのねらい

- ① 二十一世紀のキーワードとしてさまざまな領域で使われている「共生」という言葉を生物学的見地から再考し、それが「共死」への覚悟を含むものであってほしいという主張を述べた説明的な文章によって、文脈に即しての読み取りや言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。
- ② 完全無欠でないからこそ現実よりもっと理想に近い姿が想像できる、という中世的な隠者の美意識を述べた「徒然草」の一節と、それを解説した文章とによって、古典に関する基本的な知識や内容を的確に読み取り、また古典に関連したことがらについて思考を発展させ、具体的に表現できる能力をみる。
- ③ 武士の子であった「松吉」が、主人「和助」とのやりとりをとおして、商人としてのありようを諭され、自らの未熟さを痛感することになった文学的文章によって、登場人物の心情を想像力を働かせつつも表現や構成に着目して読み取り、それを的確に表現する能力をみる。